

技能五輪 世界大会で優勝!

世界の若手技術者が腕を競う第40回技能五輪国際大会が、9月1日から6日までにカナダのバンクーバーで行われ、本校電気工学科卒業生の濱田和洋さん(平成19年3月電気工学科卒業・現在は日産自動車座間事業所へ勤務)が、「メカトロニクス」職種において金メダルを獲得し、本校へ凱旋しました。

職種の内容は、水を入れ物に注入した後、ふたをして分類するというもので、制限時間内に生産ラインを組み上げ、その正確さや迅速さを競うものです。出場した各国28チームのうち、濱田さんのチームは唯一課題をクリアし、文句なしの優勝を飾りました。また、他の職種にそれぞれ出場している全ての日本人競技者の中の最優秀者に贈られる「国別最優秀選手賞」も併せて受賞しました。

濱田さんは「高専で学んだ基礎知識のお陰で電気分野で恐れずに取り組めた」と述べ、また、濱凱旋時に本校の後輩達へのメッセージとして「やれば、何でもできるものだよ」とエールを送っていました。



観光甲子園準グランプリ獲得!

大自然を歩く! 東北道「フットパス」ツアー



フットパスの聖地で「愛とロマンの6時間コース」!

〜みんなで一緒に歩きたい〜

フットパスは観光への道

フットパスは、自然の美しさ、土地の安全、物産の安さ、交流の場(交流の場)を兼ね備えています。

フットパスは、その自然環境を最大限に活用し、観光客が安心して歩けるようになっています。

フットパスは、その自然環境を最大限に活用し、観光客が安心して歩けるようになっています。

Q: 今回出場してみようと思っただけは何かはありますか?
A: 学生用掲示板にプラン募集のポスターが貼ってあったのをたまたま見たことですね。元々、旅行が好きなので「あ、おもしろそうだなあ」って。

Q: プランの資料を見せてもらったけれど、かなり凝ってますよね。
A: ええ。実際に自分たちで礼文島へ足を運んで得た体験を盛り込んでいます。礼文島でのフットパス旅行では30kmくらい歩きましたね。

Q: それはすごい! まさに「生きた」資料なわけですね。
A: ただ、資料の作成に時間

Q: さらに上を目指そうと思えるその向上心は立派だと思います。今日はありがとうございました。
A: そうなんです。資料の完成度については、学校で勉強したことも生かしたので自信がありました。それだけに、もっとうまく発表できればさらに上位に食い込めたのになと思うとやっぱり悔しいです。

Q: 確かに、発表時間の制限を超えてしまった、と聞いています。
A: そうなんです。資料の完成度については、学校で勉強したことも生かしたので自信がありました。それだけに、もっとうまく発表できればさらに上位に食い込めたのになと思うとやっぱり悔しいです。

8月23日(日)に神戸夙川(しゅくがわ)学院大学で開催された、第1回『観光甲子園』で情報工学科3年生の兒玉君、小島君、三浦君、岩松君の4名が見事準グランプリを獲得しました。『観光甲子園』とは、高校生が主役となって地域をアピールし、実際に商品化をめざすことのできる「地域観光プラン」を募集するコンテストです。今回は、『観光甲子園』出場の発起人である兒玉君に話を伺いました。